

令和4年度 第2回 国土交通省大阪航空局 入札監視委員会

審 議 概 要

開催日及び場所	令和4年12月15日(木) 大阪航空局 B・C会議室	
委員	委員長 竹林 幹雄 (神戸大学大学院教授) 委員 増田 達也 (大阪工業大学客員教授) 委員 定岡 由紀子 (弁護士)	
審議対象期間	令和4年4月1日～令和4年9月30日	
審議概要		
1. 報告	入札・契約手続きの運用状況について	
2. 抽出案件	総件数 3件	
	(1) 工 事	一般競争 (総合評価落札方式) 1件
	(2) 建設コンサルタント業務等	一般競争 (総合評価落札方式) 1件
	(3) 役務の提供及び物品の製造等	一般競争 (不落随契) 1件
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する大阪航空局の回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	抽出した3案件について、参加条件の設定、資格の特定等について審議し、問題無いと判断した。今後も公正で一層、透明性をもった入札を実施されることをお願いしたい。	

審議概要（別紙）

1. 報告

入札・契約手続きの運用状況について

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
<p>○ 不調・不落はどういう状況か。</p> <p>○ 不調・不落に対する改善の余地はないのか。</p>	<p>○ 令和2年度上半期:21件、令和3年度上半期:20件、令和4年度上半期:19件であり、ほぼ横ばいの状況です。</p> <p>○ 不調の理由として、物価高騰、半導体不足など電子機器の資材調達が困難なことにより工期内に完了できないこともあり、発注時において、それも踏まえた適切な工期の設定をしていくことが必要と考えている。</p>

2. 抽出案件

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
<p>(工事)</p> <p>○ 本案件と地方官署の発注において、特定の受注者の落札率が98%を超えているが、このようなことはよくあることなのか。</p> <p>(役務の提供及び物品の製造等)</p> <p>○ 給水車は主に国産と思われるが、消防車においては昨今の調達は殆ど外国製であり、今後、円安により消防車が調達できていないことを懸念している。</p>	<p>○ 地方官署発注の案件においても、単価、積算基準を公表しているため、落札率に乖離が生じなかったと思われる。</p> <p>○ 消防車や給水車の調達はWTO案件であり外国を含めた公告を行っている。消防車は昨今、外国メーカーにより調達している状況であるが、点検及び修理等のメンテナンス、部品調達等で時間を要するなどの懸念もあると考えている。</p>